

タイ・チェンマイ・カセサート農科大学演習林にて採集した。導入後前種と同様に栽培し、1987年8月に開花した。

タイ・ヒマラヤ・インドシナにかけて自生する単茎性の着生ラン。茎は細く下垂し、葉は線形で厚く、長さ約10cm、幅約1.5cm。葉腋より3～4分枝する長さ約30cmの花茎を下垂し、小さい花を多数つける。花の自然開張幅は約3mm、萼片は淡青色、花弁、唇弁は白色で肉厚。開花期間は長く、当園の温室では開花時期は不定期(図7)。

1985年のタイ調査で確認または本園に導入したラン科植物のうち種名の判別できたものは、日本植物園協会タイ国植物調査報告書(1985年)に報告した。本報告では、その後新しく開花し、種名の判別したものを記した。

〈参考文献〉

井上頼数他著;最新園芸大辞典

L.H. Bailey; Hortus Third.

G. Seidenfaden & T. Smitinand; The Orchid of Thailand.

バラ (5)

在岡孝行

本年も種子交換等により導入したバラの中から生育良好な下記の13種をバラ園原種コーナー

に植栽したので報告する。昨年までに植栽済みの51種を含め64種となった。

1987年に新たに植栽展示したバラ

学名	播種日	導入先	形態その他
R. acicularis var. bourgeauiana Crép.	年月日 85.5.29	ラトビア大学 (ソビエト)	種子
R. alba L.	87.12.7	タキイ種苗 (日本)	接木苗
R. amblyotis Mey.	86.6.28	アムステルダム大学 (オランダ)	種子
R. damascena Mill.	86.6.16	パーカル樹木園 (ルーマニア)	種子
R. davidii Crép.	85.4.14	アムステルダム大学 (オランダ)	種子
R. gigantea Collett	86.2.12	昆明植物園 (中国)	種子
R. holodonta Stapf	86.5.11	キュー植物園 (イギリス)	種子
R. latibracteata Bouleng.	84.5.29	ワゲニンゲン樹木園 (オランダ)	種子
R. montana Chaix	84.11.8	ジェノバ大学 (イタリア)	種子
R. × reversa Waldst. & Kit.	85.5.29	ラトビア大学 (ソビエト)	種子
R. rubrifolia Vill.	85.6.28	デボネアン大学 (カナダ)	種子
R. spinosissima var. myriacantha Koehne	85.6.28	デボネアン大学 (カナダ)	種子 = miriacantha*
R. woodsii var. fendleri Rehd.	85.5.29	ラトビア大学 (ソビエト)	種子 = fendleri*

\* 導入名

〈参考文献〉

Haring, P. A. (ed.) 1986; Modern Roses 9.